

鳥取県経済同友会東部地区 3 月例会報告

- 1 日 時 令和 8 年 4 月 2 日 (木) 1 8 : 3 0 ~
- 2 場 所 ホテルニューオータニ鳥取「鳳凰の間」
- 3 講 演 「戦場写真家が創る未来」
戦場写真家 青 木 弘 氏
- 4 出席者 会員 2 8 名
- 5 講演概要

3 月例会は教育文化委員会が担当で、講演が始まる前に玉木委員長より、戦場写真家の青木氏に講演を依頼した経過等の話がありました。青木氏は鳥取県智頭町の出身で、戦争、貧困、飢餓、尊厳をテーマにアフリカの紛争地を中心に撮影を続けられています。現在は自ら中央アフリカの支援に取り組まれています。

講演のポイントは次のとおりです。

戦場写真家として 2 0 年に渡り、パレスチナ、イラクなどの紛争で悲惨な写真を撮影し続けていたが、ある時、撮影スタンスが少し違うのではないかと気づいた。それからは、長年ダイヤモンドの利権をめぐる内戦が続いた中央アフリカの姿、特にそこで暮らす人々の日常を撮影している。

撮影をしているうちに中央アフリカの人々を支援したい気持ちが沸き起こり、ニワトリを飼育することにした。

ニワトリにした理由は、①中央アフリカには養鶏という概念がなく成功すれば市場性が見込める、②初期投資が少ない、③キリスト教徒、イスラム教徒ともに食べられる、などであった。

養鶏場の建設地が周辺の村の水汲みの通り道であったことから、周辺の村が反対した。水汲みをしなくていいよう、各村に井戸をつくり和解した。

養鶏場をつくり、5 0 0 0 羽のニワトリ飼育し、販売できたが赤字であった。軌道に乗るにはまだ時間を要する。

最後に、まとめとして「いのちを懸けて」、「いのちを育て」、「いのちを繋ぐ」ことで、「平和の路を拓く命の循環」であることをお話された。



【講演する青木 弘氏】